

# 道徳通信

愛西市立八開中学校  
令和4年3月2日  
青ブロック職員



## 「自分を見つめよう」～道徳「がんばれ おまえ」を通して考えました～

中学時代にいじめに遭った少年は、高校に入学すると「おもしろいやつ」を演じ、人気者になります。しかし本当はさまざまなことに思い悩んでおり、一人になると、ぐったりと疲れ切ってしまいます。少年は同級生の少女を好きになると、そんな面も含めた自分自身を知ってほしいと思うようになります。体面をつくろうあまり、内面に不安を抱える少年の物語を通して、「自分らしさ」について考えました。

●● ●●くん

今までの道徳で一番難しかった。オレとおまえは一緒、別々などの意見があったけど、僕はオレとお前で一つの個性だと思った。

●● ●●くん

そういう人は難しい哲学のことを考えているのだなと思った。状況により人格を使い分けることは世渡りの必要だが、正直ここまでのか？とも感じた。自分のなりたい自分になれているのかを考えて生きていこうと思う。

●● ●●さん

今まで自分らしくいられた小、中学校とは違い、高校では自分のことを全く知らない人しかいないので自分らしさを隠さないように生活したいと思った。

●● ●●くん

本当の自分や嘘の自分があっていいと思う。それも一つの個性や、自分らしさだと思う。

●● ●●さん

自分らしさは、自分の良さも悪さもひっくり返して表す言葉と思った。なぜなら、自分が悪いと思っても相手には良い面に見える時もあると思ったから。

●● ●●さん

自分を隠したくなるときがあるけど、少しずつでも自分らしさを出して行こうと思った。でも自分を無理に出すのではなく、どうしても隠したいと思うことは隠してもいいのかなと思った。

●● ●●くん

僕は心の中に2人も自分はいないけど短所も長所も自分であることを受け入れる必要があると思った。

●● ●●さん

自分らしさは人によって違う。人格はたくさんある人もいる、その人たちにそれは自分らしさなのかと聞けば大体の人は違うと答えると思う。同じ人でも中身が違うなら別々に考えるべきだと思う。

●● ●●さん

これが自分らしさだと言ってしまうとその人らしさになると思う。誰かが決めつけるより自分で決めた方が楽になると思う。

●● ●●さん

今回の話でいうと、みんなを笑わそうと努力する少年と本当は暗い少年のどちらにも自分らしさがあると私は考えました。今の私はどういう自分らしさがあるかあまりわからないけど、これからの高校生活で見つけていいところを伸ばしていきたいです。

●● ●●くん

自分らしさとは自分の自然体だと思います。時には自然体ではいられない状況もある。だからと言って、自然体ではない状態でずっといても心の疲労が抜けにくい。だから、自分は自然体でいられる状況とされない状況を見極める力をつけようと思います。

